

農村地域防災減災事業

(防災重点農業用ため池緊急整備事業 (ため池総合整備工事【地震・豪雨対策型 (大規模事業)】))

県営緊急防災工事計画書

(農業用排水施設)

県	名	岩	手
地	区	名	大
所	在	地	矢
事	業	主	体
		岩	手
			県

県 営 緊 急 防 災 工 事 計 画 書

— 目 次 —

第1章	目 的	1	3.	動力農機具及び主要家畜頭数	16
第2章	地域及び地積	1	4.	主要作物作付状況	17
第1節	地 域	1	5.	農業の動向	18
第2節	地 積	1	第6節	地域環境の概況	18
第3章	現 況	2	第4章	一般計画	19
第1節	気象及び海象	2	第1節	事業計画の要旨	19
1.	一般気象	2	1.	要 旨	19
2.	特殊気象	3	2.	事業別面積	19
3.	海 象	[該当なし]	第2節	営農計画及び土地利用計画	[該当なし]
第2節	土地状況	4	1.	営農計画の概要	//
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4	2.	土地利用区分	20
2.	土地分類	[該当なし]	3.	作付方式	[該当なし]
3.	土地利用の状況	7	4.	生産計画	//
4.	土地所有の状況	7	5.	労働改善計画	//
第3節	水利状況	8	6.	級地別土地利用区分	//
1.	用水状況	8	7.	土地配分計画	//
2.	排水状況	[該当なし]	第3節	用水計画	[該当なし]
3.	河川状況	//	1.	計画基準年	//
第4節	道路概況	[該当なし]	2.	計画かんがい方式	//
1.	道路概況	//	3.	計画用水系統	//
2.	主要道路一覧表	//	4.	計画用水量	//
第5節	地域農業の概況	14	5.	水源計画	//
1.	産業別就業人口	14	第4節	排水計画	[該当なし]
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼別農家数	15	1.	計画基準雨量	//
			2.	計画排水方式	//
			3.	計画排水系統	//
			4.	計画排水量	//

5.	排水対策	[該当なし]	4.	用水路	[該当なし]
6.	湛水検討	〃	5.	その他かんがい施設	〃
第5節	道路計画	[該当なし]	第2節	排水施設	[該当なし]
1.	道路及び索道	〃	1.	排水水門	〃
2.	路線配置図	〃	2.	排水機	〃
第6節	農用地造成計画	[該当なし]	3.	排水路	〃
1.	農用地造成計画	〃	4.	その他排水施設	〃
2.	土壌改良	〃	第3節	道路及び索道	[該当なし]
第7節	洪水調節計画	[該当なし]	1.	道路	〃
1.	計画基準雨量	〃	2.	索道	〃
2.	計画洪水量及び調節量	〃	第4節	農用地造成	[該当なし]
3.	貯水池	〃	1.	農用地造成工	〃
4.	洪水調節検討	〃	2.	土壌改良	〃
5.	管理計画	〃	第5節	洪水調節施設	[該当なし]
第8節	干拓計画	[該当なし]	1.	貯水池	〃
第9節	農用地整備計画	[該当なし]	2.	頭首工及び導水施設	〃
1.	区画整理	〃	第6節	干拓施設	[該当なし]
2.	暗渠排水	〃	1.	堤防	〃
3.	客土	〃	2.	潮止め	〃
4.	農地保全	〃	3.	付属施設	〃
第10節	老朽ため池改修計画	33	4.	埋立	〃
1.	洪水吐改修計画	33	第7節	農用地整備施設	[該当なし]
2.	堤体補強計画	33	1.	区画整理	〃
3.	取水施設改修計画	[該当なし]	2.	暗渠排水	〃
第5章	主要工事計画	34	3.	客土	〃
第1節	用水施設	[該当なし]	4.	除礫	〃
1.	貯水池	〃	5.	農地保全	〃
2.	頭首工	〃	第8節	老朽ため池改修施設	43
3.	揚水機	〃	1.	貯水池	43
				2.	堤体補強施設	43

第6章	付帯工事計画	……………	[該当なし]
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	……………	44
第8章	環境との調和への配慮	……………	44
第9章	換地計画の概要	……………	[該当なし]
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	……	〃
第2節	換地区の設定	……………	〃
1.	換地区の名称、所在、面積	……………	〃
2.	換地区を設定する理由	……………	〃
第3節	換地計画樹立の基本方針	……………	〃
1.	従前の土地の地積の基準	……………	〃
2.	用途別予定地積	……………	〃
3.	農用地集団化の方針	……………	〃
4.	非農用地の換地方法	……………	〃
第4節	土地の評価及び清算の方法	……………	〃
1.	評価の方法	……………	〃
2.	清算の方法	……………	〃
第5節	換地計画樹立の年度計画	……………	〃
第6節	換地処分の特則に関する特則	……………	〃
第10章	事業費の総額及び内訳	……………	48
第11章	効用	……………	49
第12章	関連する事業	……………	[該当なし]

第13章	現況・計画図面	……………	50
1.	計画概要図	……………	50
2.	土地利用計画図	……………	50
3.	全体計画平面図	……………	50
4.	標準断面図	……………	50
5.	付帯工構造図	……………	50

第1章 目 的

本ため池は、江戸時代（1867年）に築造された後、昭和46年の小規模ため池等整備事業により改築されたアースダムで（堤高4.9m、堤長245.0m）である。平成26年度にため池の一斉点検により現状を把握しており、堤体には、目立った損傷は認められないところであるが、洪水吐の断面不足及び緊急放流工の未整備が確認されている。また、本ため池は、防災重点ため池に指定されたことから、令和3年度に耐震診断（レベル1）を行ったところ、所定の安全率（1.2）を満足していないことが判明し、補強対策の実施が必要となったことから、本事業により早急に堤体改修を行い、災害に強く、安全で安心な地域づくりを図るものである。

必要性および緊急性

大規模地震動に対する安全性が損なわれている現状にあり、堤体の補強対策改修を行うことが災害防止の為に急務である。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農村地域防災減災事業	岩手県 紫波郡 矢巾町 和味

第2節 地 積

(令和6年12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農村地域防災減災事業	矢巾町	186.2					186.2	
合 計		186.2					186.2	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	盛岡	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H25年～R4年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(°C)		20.6 °C	6.5 °C	11.2 °C	
降水量	平均(mm)	634.2 mm	690.6 mm	1324.7 mm	
	基準年(mm)	- mm	- mm	- mm	
降水日数	平均(日)	52 日	95 日	148 日	
	基準年(日)	- 日	- 日	- 日	
根雪期間	56 (12.31 - 2.24)			日間	
無霜期間	180 (4.29 - 10.25)			日間	
最多風向	S	最大風速 (風向)	16.2 m/s (SW)	最多風向発生時期 年 月 日 最大風速発生年月日 2016年4月17日	

(計画樹立参考資料 -雨量資料- 令和6年3月 岩手県農林水産部農村計画課)

※最大風速のデータは気象庁のホームページによる

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	1位			2位			3位			4位			5位			備考
	盛岡															
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	日雨量はM35～ 時間雨量はT13～
M35(T13)年～R4年																
最大日雨量 (mm)	200.0	S13.8.15	1/240	198.0	H19.9.17	1/224	180.0	M43.9.2	1/117	165.0	S6.8.10	1/67	143.0	H14.7.11	1/29	M35年～R4年
最大時間雨量 (mm)	63.0	S13.8.15 20	1/648	51.5	H28.8.2 14	1/104	48.0	S28.8.13 20	1/60	45.0	S57.8.30 15	1/37	38.0	H7.8.26 4	1/12	T13年～R4年
最大4時間雨量 (mm)	165.0	S13.8.15 21	...	95.0	S6.8.11 2	1/32	92.0	H17.8.15 8	1/27	92.0	S34.9.27 7	1/27	88.0	S63.8.31 2	1/21	T13年～R4年
最大3日連続雨量 (mm)	346.0	S43.9.3	1/989	224.0	T11.7.30	1/44	219.0	S13.8.15	1/39	218.0	S13.8.16	1/38	215.0	T9.8.10	1/35	M35年～R4年
最大連続旱天日数 (日)	62	S4.6.19	...	48	S18.6.23	...	45	S3.7.18	...	41	S53.6.23	1/645	38	S48.6.23	1/197	M35年～R4年

(計画樹立参考資料 -雨量資料- 令和6年3月 岩手県農林水産部農村計画課)

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間 年～年								
実測値								

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高		備考		
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高 (m)		最低 (m)	
										8°～	10°～	12°～							
農村地域防災減災事業	面積 (ha)		186.2				186.2										193	133	
	比率 (%)		100				100												
合計	面積 (ha)		186.2				186.2												
	比率 (%)		100				100												

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)区分	土壤統(区)区分一覽表								面積(ha)		備考		
	土壤断面								堆積様式	母材		事業名	
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥灰層 黒泥層 及び グライ層				農村地域 防災減災 事業	計
					表土 一層	下層土 二層 三層							
泥炭質土壤強粘土型	黄 褐	-			HC	HC	LC	有	-		13.0		
黒泥土壤壤土型	黄 褐	富	-	-	LC	LC	LC	有	-		15.3		
強グライ土壤粘土還元型	黒	富	-	-	LC	C	C	有	-		29.8		
強グライ土壤粘土斑鉄型	黄 灰	富	-	-	LC	LC	C	有	-		30.7		
強グライ土壤砂土還元型	黒 褐	富	-	-	LC	C	C	有	-		24.6		
グライ土壤強粘土構造型	暗 褐	富	-	-	LC	C	LC	有	-		27.6		
灰褐色土壤粘土型	灰黄褐	富	-	-	LIC	SC	HC	有	-		13.0		
黒色土壤粘土腐食型	黒	富	-	-	LIC	SC	G	-	-		27.7		
礫質土壤壤土型	黒	富	-	-	-	-	-	-	-		4.5		
計											186.2		

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度位	大なる物	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	一級地	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		二 級 地				三 級 地			四 級 地				
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域 防災減災事業	矢巾町	186.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186.2		
合 計		186.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186.2		

4. 土地所有の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個人有	法人有	町有				計	備 考
農村地域 防災減災事業	面積 (ha)	165.7	20.4	0.1				186.2	
	受益者数 (人)	151	1	1				153	
	筆数 (筆)	1,299	131	2				1,432	
	権利関係 備考 (関係戸数)	151	1	1				153	
	合 計	面積 (ha)	165.7	20.4	0.1				
合 計	受益者数 (人)	151	1	1				153	
	筆数 (筆)	1,299	131	2				1,432	
	権利関係 備考 (関係戸数)	151	1	1				153	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

次頁参照

(2) 用水施設

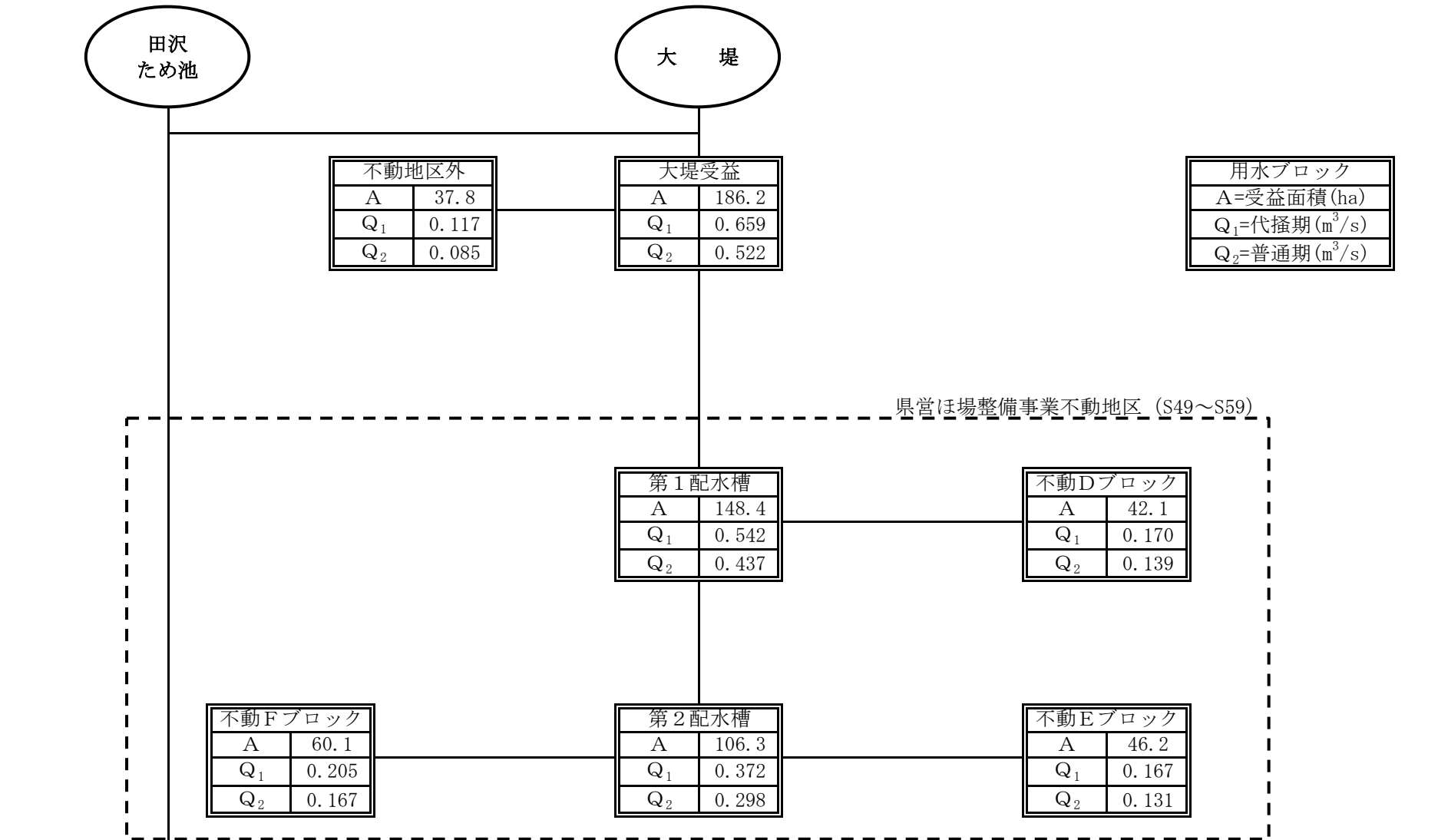
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
農村地域防災減災事業	貯水池			2	186.2			2	186.2						大堤・田沢
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計			2	186.2			2	186.2						

現況・計画用水系統図

< 現況 = 計画 >



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農村地域防災減災事業	貯水池	1	186.2	アースダム	42 千m ³	1867年、昭和46年	耐震性を有していないため	
	井 堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	186.2		42 千m ³			
	貯水池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		1	186.2		42 千m ³			

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)			

(イ) その他の被害状況

該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域 防災減災 事業	93.0			93.0	9,122	2,838	6,630	173,709	232,496	424,795	
合計	93.0			93.0	9,122	2,838	6,630	173,709	232,496	424,795	

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			500ha以上		500~100ha		100ha以下					
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び排水機										
		排水路及び排水機										
	計											

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は	改修を必要	備 考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況						平均減産量		備 考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
計			平均													
			基準年													

3. 河川状況

(1) 河川の状況 該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路概況

- 1. 道路概況 該当なし
- 2. 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長	幅員 (m)		構造	改修の可否	備考
				全市	有効			

第5節 地域農業の概況

- 1. 産業別就業人口

岩手県統計年鑑 (令和5年度版) (第7表-1)

項目 市町村名	総	農	利	建	製	熱電	情	運	卸	金	物	技	飲	業	教	医	複	の
	数 (人)	林 業 (人)	鉱 採 業 (人)	設 業 (人)	造 業 (人)	気 給 業 (人)	報 通 業 (人)	輸 業 (人)	売 業 (人)	融 業 (人)	不 動 業 (人)	術 研 業 (人)	宿 泊 業 (人)	生 活 業 (人)	育 支 業 (人)	療 福 社 (人)	合 サ 業 (人)	分 類 業 (人)
矢巾町	21,045	159	7	843	570	2	18	2,276	9,094	14	433	187	232	375	147	6,075	15	598
計	21,045	159	7	843	570	2	18	2,276	9,094	14	433	187	232	375	147	6,075	15	598
比率 (%)	100	1	0	4	3	0	0	11	43	0	2	1	1	2	1	28	0	3

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼別農家数

岩手県統計年鑑（令和5年度版）（第7表-2）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)										備 考	
		0.3ha 未 満	0.3ha ～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 10.0ha	10ha以上	例外規定の 適用を受け るもの		
矢巾町	432	60	30	81	46	29	62	40	34	50	-		経営耕地なしを除く
計	432	60	30	81	46	29	62	40	34	50	-		
比率(%)	100	14	7	19	11	7	14	9	8	11	-		

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼別農家数（つづき）

岩手県統計年鑑（令和5年度版）（第7表-2）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	1戸当たり平均農業用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備 考
		田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当 り団地数	団地当 たり面 積(a)	専業	兼業		
											第一種	第二種	
矢巾町	432	5.11	0.24	0.09	5.44	0.15	5.59	-	-	-	-	-	
計	432	5.11	0.24	0.09	5.44	0.15	5.59	-	-	-	-	-	
比率(%)	-	91	4	2	97	3	100	-	-	-	-	-	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	トラクター 耕運機		自動田植機		自脱コンバイン		動力防除機		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
矢巾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	534	48	-	2	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	534	48	-	2	
100戸当たり 数量 (台、頭)												123			
利用戸数 割合 (%)										0		11		0	

農家戸数 432 戸

4. 主要作物作付状況

岩手県統計年鑑（令和5年度版） および 農作物統計（令和5年）

（第7表-4）

市 町 村 名		矢巾町				計				平均	作付率 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)		2,670				2,670				2,670		
総本地面積 (ha)		2,541				2,541				2,541		
区 分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)			
作物名												
田	表作	水稻等	1,807	570				1,807	570	74.9	単収は水稻	
	裏作	小麦	401	208			401	208	16.6			
	小計		2,208				2,208	-	91.5			
畑	春夏作	野菜類	59	3,013			59	3,013	2.5	単収は キャベツ		
	秋冬作	飼料等	107	570			107	570	4.4			
	小計		166				166	-	6.9			
樹 園 地	りんご等		38	2,129			38	2,129	1.6	単収は りんご(全体)		
	小計		38				38	-	1.6			
	計		2,412				2,412		100.0			
市町村別延べ作付率 (%)		90.3				90.3						

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A 現在	地 目	B	A 現在	作物名	B	A 現在	家畜名	B	A 現在	農 機 具 名	B	A 現在		
変化の状況 (C年を 100とする 指 数)	総農家数	84	66	耕 地	105	109	水 稻	97	95	乳用牛	14	28	耕耘機 トラクター	70	-	A : 2020 農林業センサス 及び農物統計調査	
	専 業 農 家 数	94	-	田	108	110	小 麦	110	92	肉用牛	84	68	田植機	72	-		
	第 一 種 兼業農家数	78	-	畑	100	107	大 豆	189	415	豚	100	100	コンバイン	81	-		
	第 二 種 兼業農家数	82	-	樹園地	79	60	野 菜	88	73				動力防除機	-	-		
				草 地	36	126											
変化の理由	農家数は減少している。(専兼業数は2020農林業センサスにて調査項目廃止。)			農地集積や法人組織の増加に伴い、樹園地を除く各面積が増加している。			水稻は、近年は横ばいとなっており、水田の汎用化が図られ大豆の栽培が進んでいる。			人口減少、畜産従事者の高齢化に伴い、畜産経営体数が減少傾向である。			2020農林業センサスにて調査項目廃止。			B : 2015 農林業センサス 及び農物統計調査 C : 2010 農林業センサス 及び農物統計調査	

第6節 地域環境の概況

本地域は、主要地方道盛岡和賀線の西側に位置し、ため池周辺は奥羽山脈の裾野に位置し豊富な森林に囲まれている。

矢巾町田園環境整備マスタープランにおいて、環境創造区域にゾーニングされており、森林や背景の山脈とが調和した自然環境と景観に優れた地域となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

ため池の耐震性能を満足させるため改修を行う

■ ため池本体工事

- 堤体工 : 下流側基礎地盤の地盤改良工（中層混合処理工法）
- 洪水吐工 : 既設洪水吐（流下能力不足）の改築
- 緊急放流工 : 緊急放流工の新設
- 表面遮水工 : 既設遮水シートの更新

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農村地域防災減災事業													計	備考
	水田	輪耕地換地	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計		
土地利用区分 事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
ため池	186.2	—	—	—	—	—	186.2							186.2	
計	186.2	—	—	—	—	—	186.2							186.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

1. 営農計画の概要

該当なし

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他			小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農村地域防災 減災事業	現況	186.2								186.2				186.2	
	計画	186.2								186.2				186.2	
	現況														
	計画														
計	現況	186.2								186.2				186.2	
	計画	186.2								186.2				186.2	

3. 作付方式

該当なし

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	現況																											
	計画																											
事業名	項目	経営 類型	土地利用 区分	3年目												4年目												備考
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	現況																											
	計画																											

○ 播種 △ 移植 □ 収穫 × 接木 ● 定植

4. 生産計画

該当なし

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
	水田	表作																
		裏作																
	普通畑	春夏作																
		秋冬作																
		計																
	合計																	

5. 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)			備考	
					区分	現況	計画		増減
					人力				
					機械力				
					人力				
					機械力				
					計				
					合計				

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項 目 区 分	配分戸数 (戸)	地 目 配 分 計 画 (ha)						備 考
		田	輪換耕地	畑			計	
				普通畑	牧草畑	樹園地		
増反 入植								

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

該当なし

2. 計画かんがい方式

該当なし

3. 計画用水系統

該当なし

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい		水田畑利用		畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /日)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考		
		事業名		普通期	代かき期	面積 (ha)	一日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)			計画 平均単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)		平 均	最 大
		計	計	計画 平均単位 用水量 (mm/日)	計画 代掻単位 用水量 (mm)														
計																			

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事業名			単位給水量 (l/日)	最大給水量 (l/日)			
		計							
飲用水	飲用								
雑用水	洗浄								
	家畜								
計	給水量								

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考
					水源名	取水地の 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
					a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)	e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)		
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
			事業名							
	直接	間接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名			最大	平均		
					計				

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)		所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名		最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
			計							

(エ) 用水路

該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
			計				

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画排水方式

該当なし

3. 計画排水系統

該当なし

4. 計画排水量

該当なし

(第11表-1)

項目 排水系統名	受域面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	雨量による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
		計									自然 排水	機械 排水			
計															

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受域面積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	名 称	計画排水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

該当なし

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作目	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2. 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

項目 地目名	面積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	p H		置換酸度 (Y 1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備 考
			H ₂ O	K C I			石 灰 (t)	磷酸質材 (t)	有機質材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	他目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構
該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準
該当なし
- (3) 洪水調節要領
該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

- (1) 区画の形状
該当なし

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (リットル/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以下 の排水方法	備考
	事業名								
			計						
計									

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			
計						

3. 客 土

該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (m)		10a当たり 客土量 (m ³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基 準 雨 量 (mm)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単 位 排 水 量 (m ³ /s/ha)	全 排 水 量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名 項目	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

既設洪水吐の流下能力が不足（洪水吐能力 $Q=1.035\text{m}^3/\text{s}$ < 計画洪水量 $Q=2.239\text{m}^3/\text{s}$ ）していることから、洪水吐の改築を行う。

(1) 計画基準雨量

観測所	:	盛岡（気象庁）
確率年	:	I = 200 年
最大24時間雨量	:	R24 = 223.1 mm/24hr
最大1時間雨量	:	R1 = 55.6 mm/hr
洪水到達時間	:	tp = 76.240 min
有効時間降雨強度	:	Re = 21.74 mm

(2) 計画洪水量

算定式	:	$Q_p = 1/3.6 \times Re \times A$
流出率	:	f = 0.75
ピーク洪水量	:	$Q_p = 1/3.6 \times 21.74 \times 0.309 = 1.866$
計画洪水量	:	$Q = 1.200 \times Q_p = 1.20 \times 1.866 = \underline{2.239} \text{ m}^3/\text{s}$

2. 堤体補強計画

大規模地震時に堤体基礎地盤が液状化し堤体決壊の恐れがあることから、堤体下流側を一部掘削し、基礎地盤の地盤改良工を行う。

・堤体掘削工	V =	1,000	m^3
・堤体盛立工	V =	900	m^3
・地盤改良工	V =	1,800	m^3

堤体補強に合わせ、付帯施設の改修を行う。

・洪水吐工	N =	1	箇所
・緊急放流工	N =	1	箇所
・表面遮水工	A =	3,000	m^2

3. 取水施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	位置			備考					
	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (m ³)	
直接		間接	総貯水量					有効貯水量	
堤体									
余水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)

2. 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称	位置			備考			
	型式	堤高 (m)	堤長 (m)		取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設
固定部			可動堰	計			

3. 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

4. 用水路

該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開渠	トンネル その他	計				
		計								
計										

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開渠	トンネル その他	計				
		計								
計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

該当なし

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) (m) ×延長 (Km)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲 線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索 道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

項目 区分	造成工法	面 積 (ha)	工 法	備 考
計				

(4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分 \ 項目	面積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路

該当なし

(第20表-5)

区分 \ 項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路

該当なし

(第20表-6)

区分 \ 項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

区分 \ 項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-2)

名称	位置		堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯設備	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)						

(2) 導水路

該当なし

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

該当なし

4. 埋 立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施行方法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

該当なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第23表-4-1)

区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
			計														
計																	

(2) 心土破碎

該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磷量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

3. 客土

該当なし

(第23表-5)

区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4. 除 礫

該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全

(1) 防風林

該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

項目 区分	構 造	数 量	備 考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	大 堤				位置	岩手県紫波郡矢巾町大字和味4-144			
	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (m ³)	備 考
堤 体	アースダム	0.309	4.9	245	-	3.0	42,000	・堤体工(地盤改良工)	・洪水吐工
								・緊急放流工	・表面遮水工
余 水 吐	型 式	排水量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式		取水量 (m ³ /s)	備 考
	正面越流式	1.035	31.2	計画洪水量 2.239m ³ /s		斜樋 底樋	スライドゲート HP φ400	1門	0.305

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

・堤体下流部掘削埋戻し法面の法面保護工(種子散布工) A = 1,000 m²

(2) 漏水防止工

・堤体上流側法面の表面遮水工(遮水シート工) A = 3,000 m²
 ・既設底樋部遮水壁工 N = 1箇所

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手： 令和 7 年度

完 了： 令和 9 年度

第8章 環境との調和への配慮

大堤は、主要地方道盛岡和賀線の西側に位置し、江戸時代（1867年）に築造後、昭和45～46年に小規模ため池等整備事業により一部改修、昭和49～59年の県営ほ場整備事業不動地区において取水施設が一部改修された、下流の和味、北伝法寺、室岡、岩清水の水田約186.2haに灌漑するため池である。

ため池周辺は奥羽山脈の裾野に位置し豊富な森林に囲まれている。また、堤体の植生も十分であり、湛水面と森林や背景の山脈とが調和し自然の環境と景観に優れた地域となっている。

このため、本地区では、地域との調和や生態系の保全に配慮した整備を行うとともに、工事において発見された希少野生動植物については、移植等の保護対策を講じる。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

該当なし

1. 換地区の名称、所在、面積

該当なし

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

該当なし

(第25表-2)

換地区名	地積の基準

2. 用途別予定地積

該当なし

(単位: ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者)	非農用地区域以外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国有地	総計					
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地 (令1条の9(〇)書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					計	国			県	市町村 他	計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		施設	農業経営合理化	要な施設	生活上・経営上 必須地	公共・公用 地								宅地等	計
前後	田	畑	山林・原野	その他	土地改良施設	その他	小計	計	改良区	その他	計	創設農用地	計	宅地	その他	計	異種目換地	施設	農業経営合理化	要な施設	生活上・経営上 必須地	公共・公用 地	宅地等	計	合	国	県	市町村 他	計	一般国有地	総計	
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
合計	従前の土地																															
	換地																															

3. 農用地集団化の方針

該当なし

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地方法

該当なし

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円、%)

(第26表)

事業区分	事項		負担予定額					備考	
			工事費	率	工事雑費・地方事務費	率	計		
農村地域防災減災事業	事業費		301,000		0		301,000	令和6年度単価	
	負担区分	国	165,550	55	—	—	165,550		
		県	108,360	36	0	100	108,360		
		地元	市町村	27,090	9	—	—		27,090
			農家	—	—	—	—		—

(単位：千円)

総事業費		301,000
内訳	純工事費	301,000
	工事雑費	0
	工事費計	301,000
	地方事務費	0

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考	
	区 分				
【地震・豪雨対策型（大規模事業）】 （農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業 ため池総合整備工事）	作物生産効果	41,302	37,235		
	営農経費節減効果	△ 7,685	-		
	維持管理費節減効果	△ 379	500		
	災害防止効果 (農業部門)	777	777		
	災害防止効果 (一般部門)	9,718	-		
	災害防止効果 (公共部門)	7,261	-		
	国産農産物安定供給効果	10,094	-		
	計	61,088	38,512		

投資効率(B/C) = 1.47

〈参考〉総便益額 : 1,244,409 千円

第12章 関連する事業

該当なし

上段（ ）：全体，下段本事業分 （第28表）

区 分	事 業 名	事業主体	受益面積 (ha)	事 業 内 容

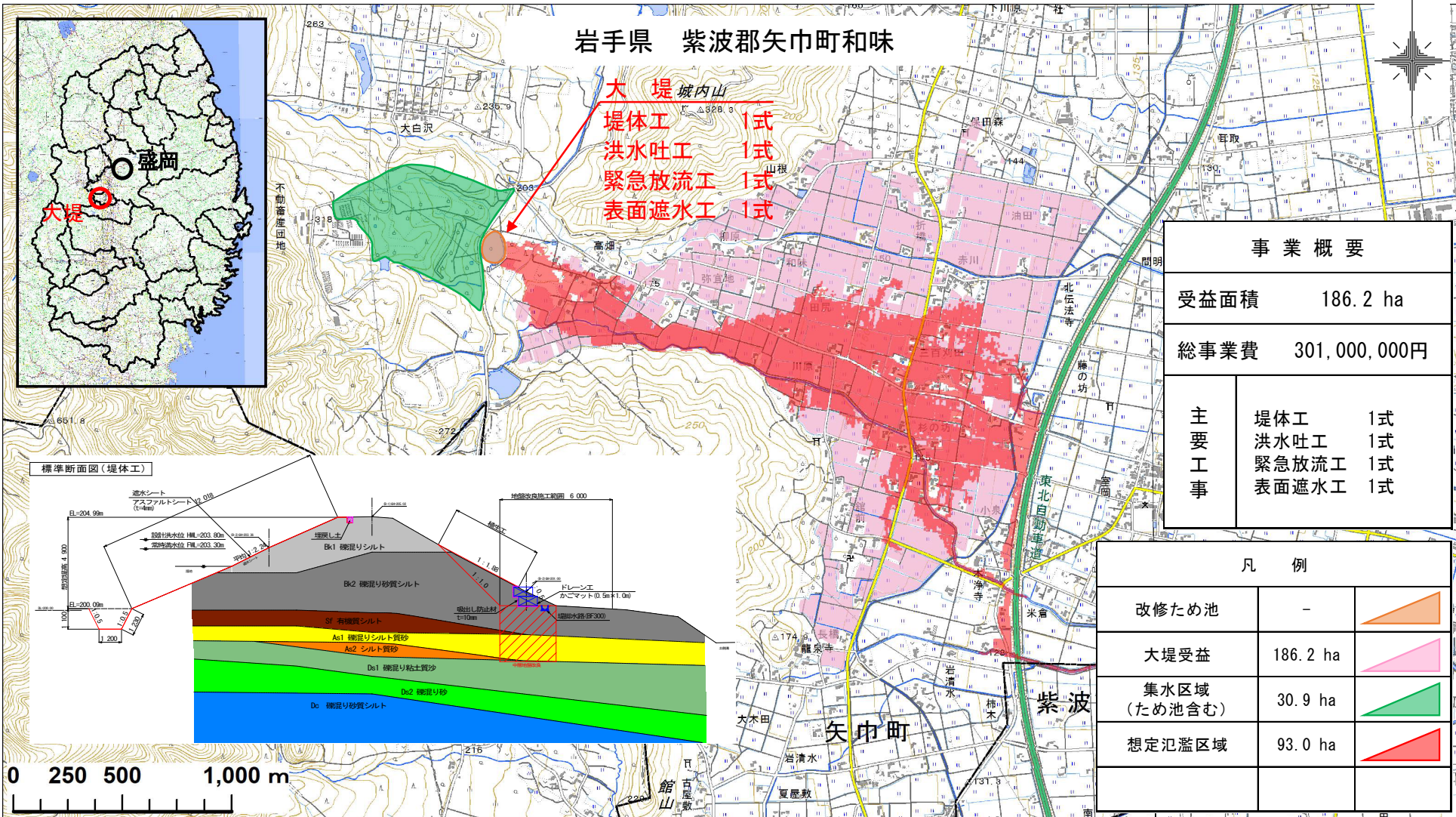
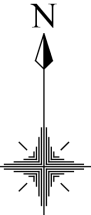
第13章 現況・計画図面

- 1. 計画概要図 別途添付
- 2. 土地利用計画図 別途添付
- 3. 全体計画平面図 別途添付
- 4. 標準断面図 別途添付
- 5. 付帯工構造図 別途添付

農村地域防災減災事業 大堤地区

計画概要図

S=1:25,000

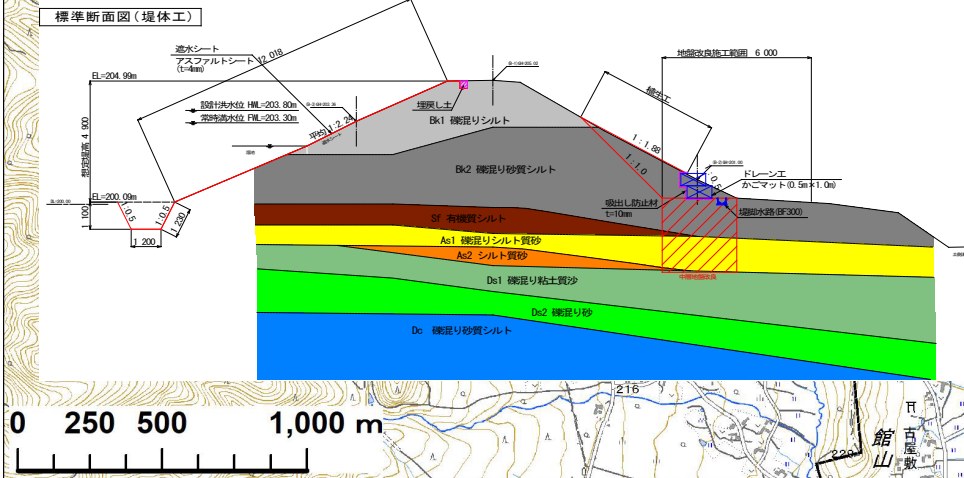


岩手県 紫波郡矢巾町和味

- 大堤 城内山
- 堤体工 1式
- 洪水吐工 1式
- 緊急放流工 1式
- 表面遮水工 1式

事業概要	
受益面積	186.2 ha
総事業費	301,000,000円
主要工事	堤体工 1式 洪水吐工 1式 緊急放流工 1式 表面遮水工 1式

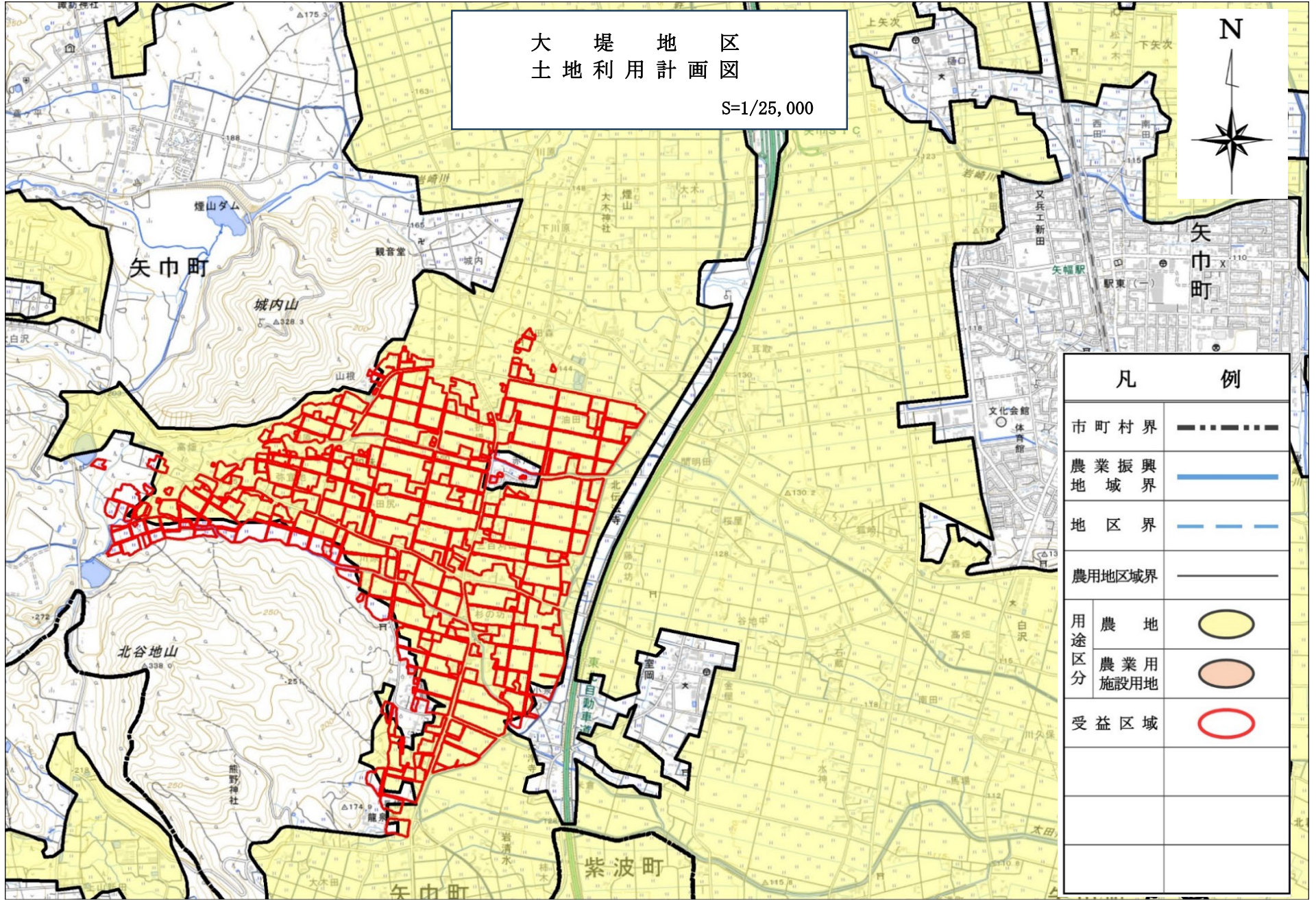
凡例		
改修ため池	-	
大堤受益	186.2 ha	
集水区域 (ため池含む)	30.9 ha	
想定氾濫区域	93.0 ha	



0 250 500 1,000 m

大堤地区 土地利用計画図

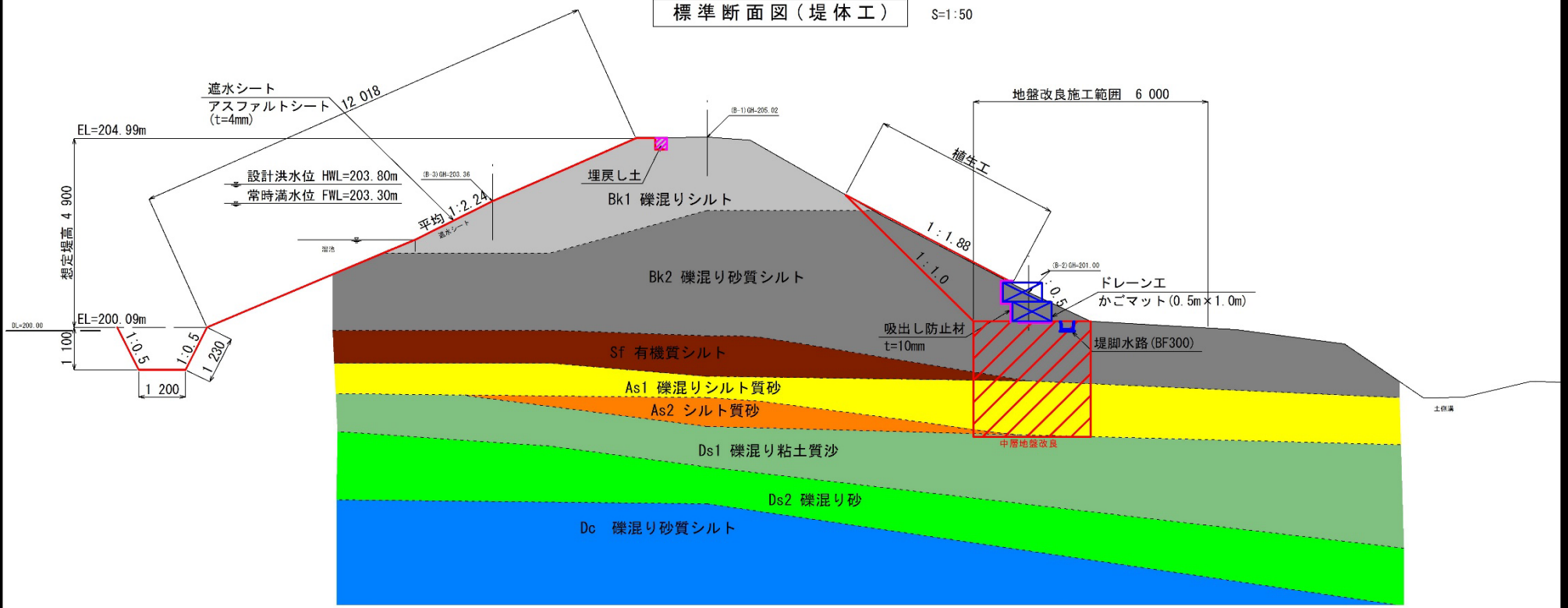
S=1/25,000



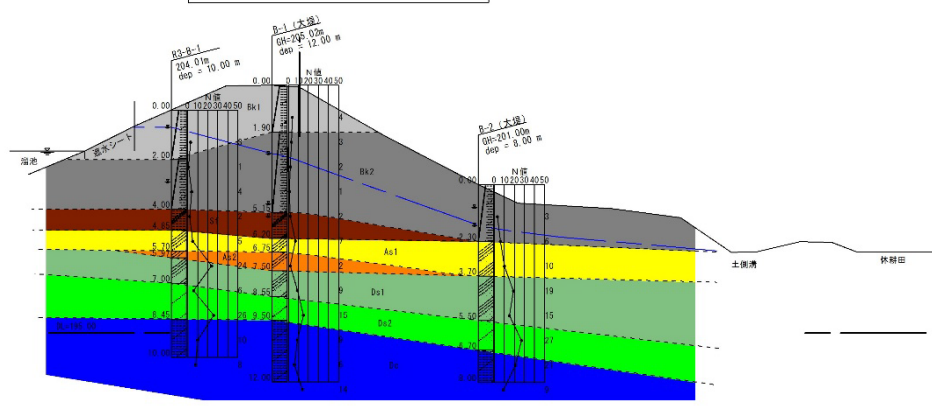
凡		例	
市町村界	-----		
農業振興 地域界	—————		
地区界	- - - - -		
農用地区域界	—————		
用途区分	農地		
	農業用 施設用地		
受益区域			

農村地域防災減災事業 大堤地区

標準断面図(堤体工) S=1:50



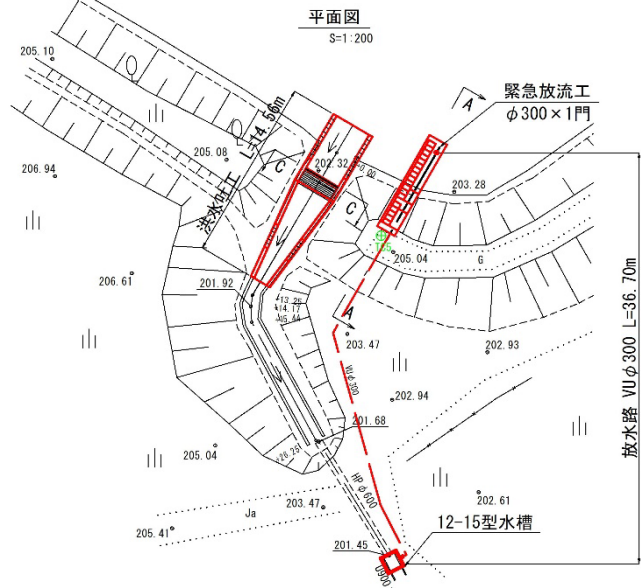
ボーリング柱状図 S=1:100



図面の名称	図面番付
農村地域防災減災事業 大堤地区 標準断面図(堤体工)	S-図示
図 章	令和 年 月 日 終了
設 計	
監 査 者	
製 図 者	

農村地域防災減災事業 大堤地区

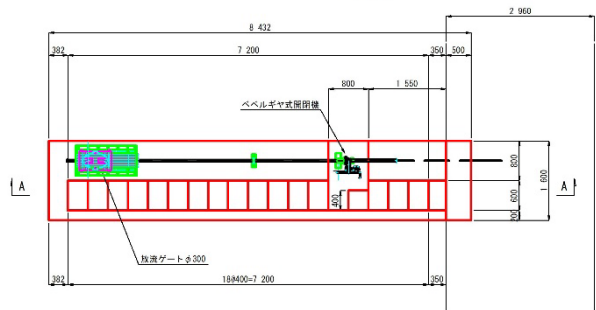
付帯工構造図



緊急放流工

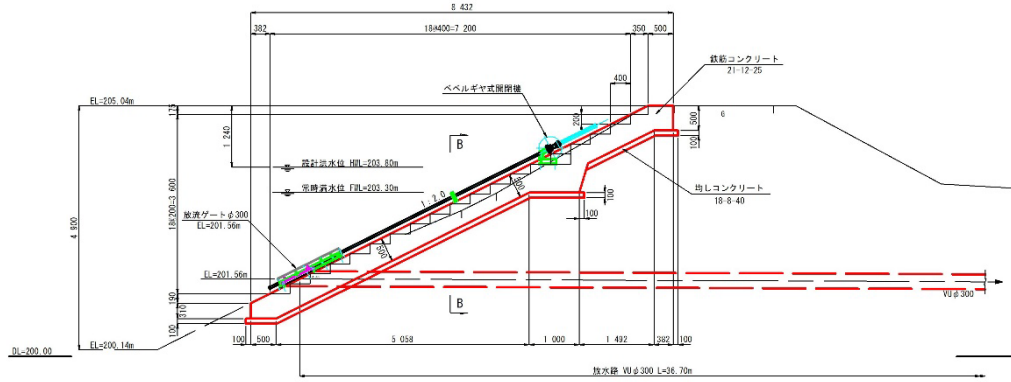
平面図

S=1:50



A-A断面図

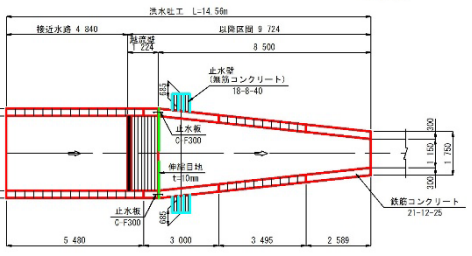
S=1:50



洪水吐工

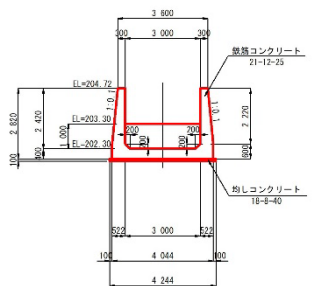
平面図

S=1:100



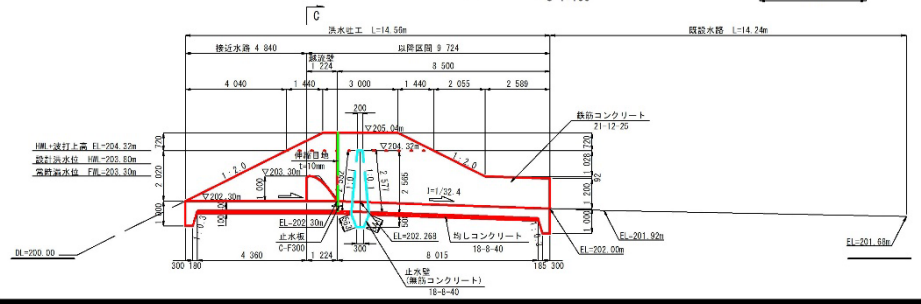
C-C断面図

S=1:100



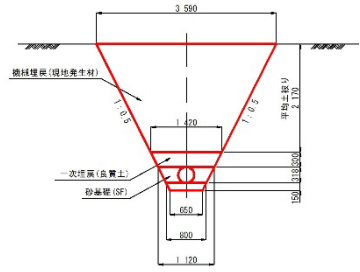
縦断面

S=1:100



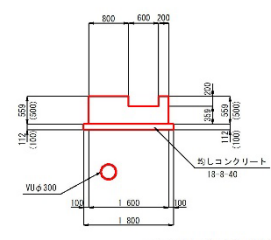
放水路標準断面図

S=1:50



B-B断面図

S=1:50



※ () は法面斜置方向の寸法を示す。

図面の名称	図面番号
農村地域防災減災事業 大堤地区 付帯工構造図	S-図示
別名	令和 年 月 日 竣工
設計	
監理	
図取	